

調査委員会における調査研究報告書

教科名（音楽【一般】）

調査研究の観点	所 見		
	発行者（教育出版） 発行者番号（17）	発行者（教育芸術社） 発行者番号（27）	発行者（ ） 発行者番号（ ）
1 内容	<p>①歌唱共通教材は、全てを扱っている。（第1学年：「夏の思い出」「赤とんぼ」、第2学年：「浜辺の歌」「早春賦」「花の街」、第3学年：「花」「荒城の月」）</p> <p>②外国の歌唱教材として、第1学年では「アニー・ローリー」、第3学年では「帰れソレントへ」を原語でも扱っている。</p> <p>③「世界の民族音楽」について、第1学年で扱っている。第3学年でも、扱っているが参考資料的な内容となっている。また「日本の郷土の芸能」について、第1学年・第2学年で扱いがあり、写真や図などを使用した鑑賞教材の内容が配置されている。</p> <p>④ポピュラー音楽について、7つのジャンルに分けて扱っている。</p> <p>⑤創作領域について、各学年2単元（題材）の学習内容（活動）からなっている。</p> <p>⑥「生活と音楽」という内容は、第3学年で扱っている。</p> <p>⑦コンピュータと音楽について扱っている。</p> <p>⑧著作権について、第2学年で扱っている。</p> <p>⑨変声期や発声法について、第1学年で扱っている。</p>	<p>①歌唱共通教材は、全てを扱っている。（第1学年：「浜辺の歌」「赤とんぼ」、第2学年：「夏の思い出」「荒城の月」、第3学年：「花」「花の街」「早春賦」）</p> <p>②外国の歌唱教材として、第1学年では「エーデルワイス」、第2学年では「サンタ・ルチア」、第3学年では「帰れソレントへ」を原語でも扱っている。</p> <p>③全学年で、「世界の民族音楽」と「日本の郷土の芸能」を扱っており、写真や図などを使用した鑑賞教材の内容が配置されている。</p> <p>④ポピュラー音楽について、ジャンルを細分化して取り扱うとともに、日本独自のポピュラー音楽も扱っている。</p> <p>⑤創作領域について、各学年2単元（題材）の学習内容（活動）からなっている。</p> <p>⑥「生活と音楽」という内容を全学年で扱っている。</p> <p>⑦コンピュータと音楽について扱っていない。</p> <p>⑧著作権について、第3学年で扱っている。</p> <p>⑨変声期や発声法について、第1学年・第2学年で扱っている。</p>	
2 構成・分量	<p>①各学年84ページで構成されている。</p> <p>②全体構成は、領域ごとにまとまっている（歌唱3～4単元、創作2単元、鑑賞3～4単元）。</p> <p>③鑑賞曲「魔王」の訳詞が掲載されている。</p> <p>④第1学年の創作で、3音に絞って旋律をつくれるように工夫している。構成を学習するために「くいしんぼうのラップ」を扱っている。</p> <p>⑤鑑賞において、鍵盤楽器を学習する教材がほぼない。</p>	<p>①各学年99ページで構成されている。</p> <p>②全体構成は、領域ごとにまとまっている（歌唱8～10単元、創作2単元、鑑賞6単元）。</p> <p>③鑑賞曲「魔王」が楽譜中心の表記となっている。</p> <p>④第1学年の創作で、コードネームを利用して旋律をつくるようになっている。第2学年の創作は、リズムの学習が含まれている。</p> <p>⑤鑑賞において、鍵盤楽器を学習する教材はある。</p>	
3 表記・表現	<p>①三つの柱については、主要教材に関する表記があるが、全曲に渡っての表記はない。</p> <p>②教材ごとに学習目標の表記があるが、生徒自身で確認できる「具体的な学習活動」の表記がない。</p> <p>③写真やイラストなどの資料が使われている。</p> <p>④鑑賞曲の楽譜が、まとまりとして掲載されている。</p> <p>⑤「小フーガ」が最小限の掲載になっている。</p> <p>⑥唱歌の表記がある。</p>	<p>①三つの柱について、全教材に渡って表記がある。</p> <p>②教材ごとに学習目標と学習活動が表記されており、生徒自身で確認できる「何を学ぶか」や、学習目標に迫るための「具体的な学習活動」の表記がある。</p> <p>③写真やイラストなどの資料が使われている。</p> <p>④鑑賞曲の楽譜が主な部分のみで、まとまりとしての掲載がない。</p> <p>⑤「小フーガ」の掲載があり、合唱の学習にも関連付けられるようになっている。</p> <p>⑥唱歌の表記があるが、やや小さい。</p>	
4 使用上の便宜	<p>①題材ごとに自分の意見をまとめたり、話し合ったりする項目がある。</p> <p>②1年間の学びを振り返るページは設けられていない。</p> <p>③日本の伝統音楽に関わる言葉をまとめて整理しているページがない。</p> <p>④「学びリンク」という学習に関するウェブサイトを開設している。</p> <p>⑤指揮を学習するページが少ない。</p>	<p>①単元ごとに自分の意見をまとめたり、話し合ったりする項目がある。</p> <p>②1年間の学びを、音楽を形作る要素ごとに整理して振り返るページがある。</p> <p>③日本の伝統音楽に関わる言葉をまとめて整理しているページがある。</p> <p>④学習に関わるホームページにリンクするQRコードを掲載している。</p> <p>⑤指揮を学習するページが全ての学年にある。</p>	